




館名	大竹市立玖波公民館
事業名	学びのカフェ～地域ジン学びのカフェ～地域ジンまちカフェプロジェクト
趣旨	<p>玖波地区は空き家・空き店舗が目立ち、独居高齢者が多く住民同士の繋がりも薄いなど、多くの課題があった。公民館は古く、講座もマンネリ化しており来館者も少なかった。</p> <p>そこで、公民館のイメージチェンジを図り、人が集う公民館とした。また、玖波の地域資源（歴史・文化・人材など）を生かし、ふるさとを愛する心を育みながら、学校・地域・公民館が連携・協働してまちづくりを行う取組を始めた。</p>
特徴	<p>○月に一回の自主事業「学びのカフェ」や積極的な広報により、公民館のイメージチェンジ（明るくオシャレ）を図ることで、住民の集まる公民館とする。</p> <p>○「学びのカフェ」に参加した住民である「地域ジン」が、地域課題に対する自主的な事業を行う。</p> <p>○公民館職員と「地域ジン」とが共に PDCA サイクルを構築し、住民主体のまちづくりを行う。</p>
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域ジンふれあい交流会 「ボジョレーヌーボ 2014 解禁」～今宵ステキ空間～ いい夫婦の日の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ふれあい交流(参加者自己紹介)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「地元・大竹の活断層を学ぼう!」の様子</p> </div> </div>
活動実績	<p>【取組の具体的内容】</p> <p>平成 23 年 7 月～「学びのカフェ」スタート</p> <p>○月に一回、タイムリーな題材や、おしゃれで楽しい講座を実施した。</p> <p>○講座の合間に参加者同士が交流する「カフェタイム」を設け、参加交流型学習とした。</p> <p>○講師や題材に地元の地域資源を発掘・活用した。</p> <p>○取組を広めるためにフェイスブック・ブログで積極的に情報発信した。</p> <p style="padding-left: 20px;">学びのカフェ実施一覧</p> <p>平成 23 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ホテルマンによるテーブルマナー&冷製パスタ講座」 ○ タイムリーな時事を斬る! 「地震とは? 放射能とは?」 ○ 歴史から学ぶ 人間学 ○ リンパセラピー 「秋のデトックス美人計画」 ○ 「魔法の石」 身近にある電子デバイスのしくみ ○ 気分は、クリスマス! 公民館ロビーコンサート ○ クリスマス! 「気品ある紅茶講座」 ○ 「夢をあきらめないで」太平洋1周ヨットオリハルコン見学 ○ 実演 美味しいパスタの技! ロビーレストラン ○ 「気軽に楽しいワイン講座&日本酒講座」 <p>平成 24 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テディベア 着物リメイクで世界に発信 講演 ○ ティーカップを学びながら「マイセン・ウェッジウッド入門」 ○ 夏のタベ ロビーコンサート 地元の演奏家 ○ 活断層 大竹は大丈夫? 地震に強いまちを提案 ○ 知っておきたい相続の基本&日野原重明の100歳の金言

- 「ふしぎ探検！くらしの中の右・左」めくるめく左右不思議ワールド
- 地理の先生の旅の楽しみ方「イースター島のモアイ像の謎」
- 「その時、歴史が動いた！幕末の人物像」
- ワインの匂いに誘われて～ワイン講座～
- カリスマシェフによるパスタの技！

平成 25 年度～「地域ジン」誕生

講座が定着し、参加者に仲間意識が生まれ、お互いを「地域ジン」と呼び合うようになり、講座名を「地域ジン学びのカフェ」にした。

講座の演題幕、名刺、ユニフォーム、幟、テーマソングCDを手づくりするなど積極的な活動が生まれた。

さらに、講座の中から自主組織「地域ジンまちカフェプロジェクト」が発足した。

「見知らんガイドマップ&グルメスタンプラリー」、「古民家まちカフェ」、「まちの資料館」、「くばコレ」など地域イベントが企画・開催された。

【事業予算】

総事業費：130 千円

【自由記入】

- ・どこにでもたくさんある、ふるさとに眠っている宝物（歴史・文化・人材）を探し出そう！
- ・まちを変えるのは「人」。すぐに結果を求めず諦めない姿勢が大切！

【事業の開始前に想定した効果、数値目標など】

- ・講座参加者数 1,000 人/年間【開始前（平成 20 年度）220 人】
- ・協力・連携団体数 10 団体【開始前 0 団体】
- ・SNS更新数 365 回/年間【開始前 0 回】

【成果】

- ・参加者は平成 28 年度に 3,636 人にのぼる。
- ・協力・連携団体数は 21 団体にのぼる。
- ・SNS 更新数は年間 365 回以上を達成した。
- ・多世代間の住民の絆づくりが行われ、学校・地域・公民館の連携が取れるようになった。
- ・多くの参加者が自覚をもち地域の課題に取り組むようになった。
- ・地域資源を活用し、ふるさとを愛する心と次世代を担う人材の育成に取り組んだ。
- ・参加者と共に PDCA サイクルを構築し、住民主体のまちづくりが動き始めた。
- ・平成 26 年度には文部科学省の第 67 回優良公民館表彰において最優秀館として表彰された。
- ・平成 27 年度には広島県チャレンジフォーラム 2015 地方創生 まち部門で表彰された。

【運営した感想】

（工夫したこと）

少ない職員（常駐 1 人）と予算の中で、参加者の意識改革や多様な人を巻き込むための方策を考えた。

そして、フェイスブック、ブログを活用し、積極的に情報発信し、協力・連携団体を増やして地域をまるごと巻き込み、まちを元気にする取組を行った。

（今後の希望）

講座を継続開催し、地域におけるコミュニティエリアを拡大し、ふるさとを愛する心や地域を担う人材を一層多く育み、PDCA サイクルを働かせながら、地域全体を巻き込みながらあらゆる地域課題を発見し、その解決に向けて取り組んでいきたい。

成果と課題

連絡先

大竹市立玖波公民館
〒739-0651 大竹市玖波一丁目 10-1
電話 0827-57-7084 ファクシミリ 0827-59-0004
電子メール kubakominkan@fch.ne.jp